

アンケート調査の集計分析

1. 調査結果

(1) 回収率

- 調査票の配布数 766 通に対し、回収数は 383 通となっており、回収率は 50.0%となっている。

【回収結果】

	配布数	回収数	回収率
① 宮の下	72	41	56.9%
②小森	210	90	42.9%
③久保田・慶福	215	105	48.8%
④中・泉	236	111	47.0%
⑤古山	33	22	66.7%
無回答	-	14	-
合計	766 通	383 通	50.0%

(2) 集計結果

- 集計結果を以下の通り整理する。※無回答を除く

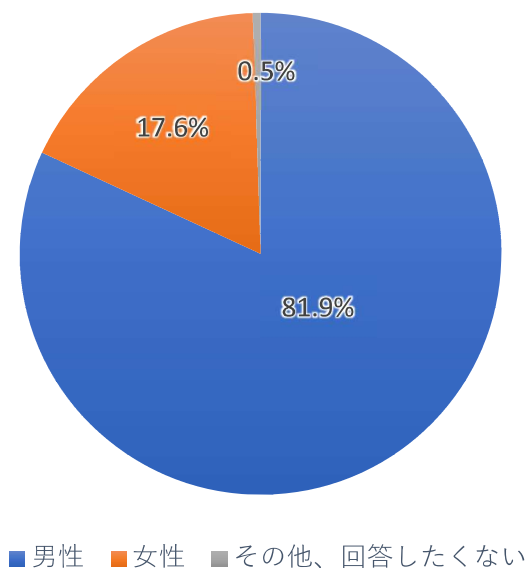
設問 1 : あなた (世帯主) ご自身のことについて、お答えください。

【設問 1 結果概要】

- 世帯主の約 8 割が 60 歳代以上の高齢者となっており、今後の高齢化の進行が懸念される。
- 世帯構成は「2 世代居住」が 41.6%と最も多くなっている一方で、「夫婦 2 人」と「ご自身のみ」を合わせると約 42.3%となっており、今後の高齢化の進行に伴って、速やかな避難行動等が取りにくい高齢夫婦のみ世帯や高齢単身世帯の増加が懸念されるため、避難場所や避難経路整備といった公助とともに、地域コミュニティによる共助の取組み促進が必要である。
- 居住年数は 8 割以上が「20 年以上」で、居住形態は 9 割以上が「持家 (一戸建て)」となっている。

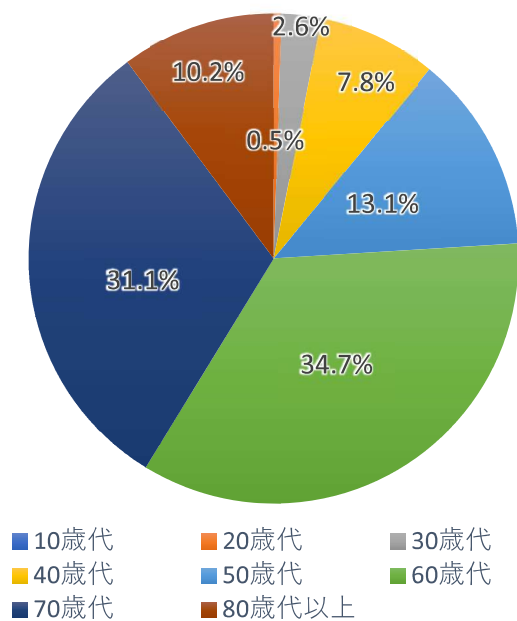
① 性別

● 「男性」が81.9%、「女性」が17.6%、「その他、回答したくない」が0.5%となっている。



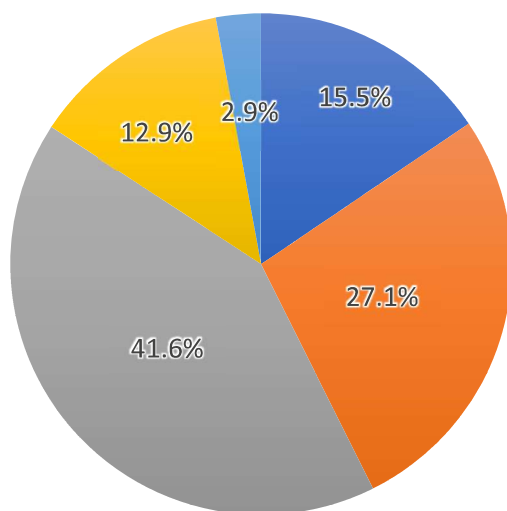
② 年齢

● 「60歳代」が34.7%と最も多く、次いで「70歳代」が31.1%、「50歳代」が13.1%と続いている。



③ 世帯構成

- 「2世代（親・子）」が41.6%と最も多く、次いで「夫婦2人」が27.1%、「ご自身のみ」が15.5%となっている。



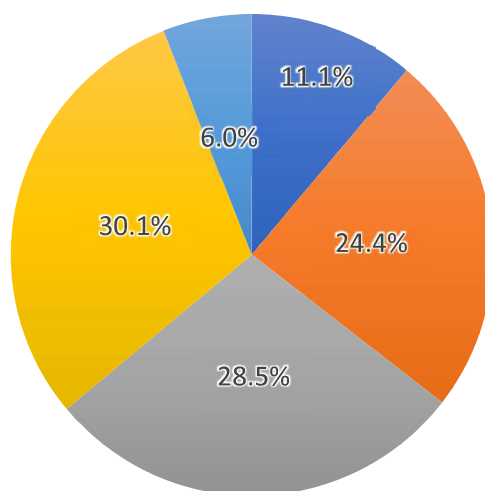
■ ご自身のみ ■ 夫婦2人 ■ 2世代（親・子） ■ 3世代（親・子・孫） ■ その他

【その他 記入内容】

- | | |
|-----------------------|--------------|
| ➢ 実質空家 | ➢ 私と母親と二人です。 |
| ➢ 事務所を兼ねている為 | ➢ 弟と同居 |
| ➢ 夫婦・子・夫の兄 | ➢ 母 |
| ➢ 娘達夫婦・義理の母 | ➢ 世帯主、弟 |
| ➢ 親は現在入院、子と孫と世帯分離している | ➢ 親子4人 |

④ お住まいの地区

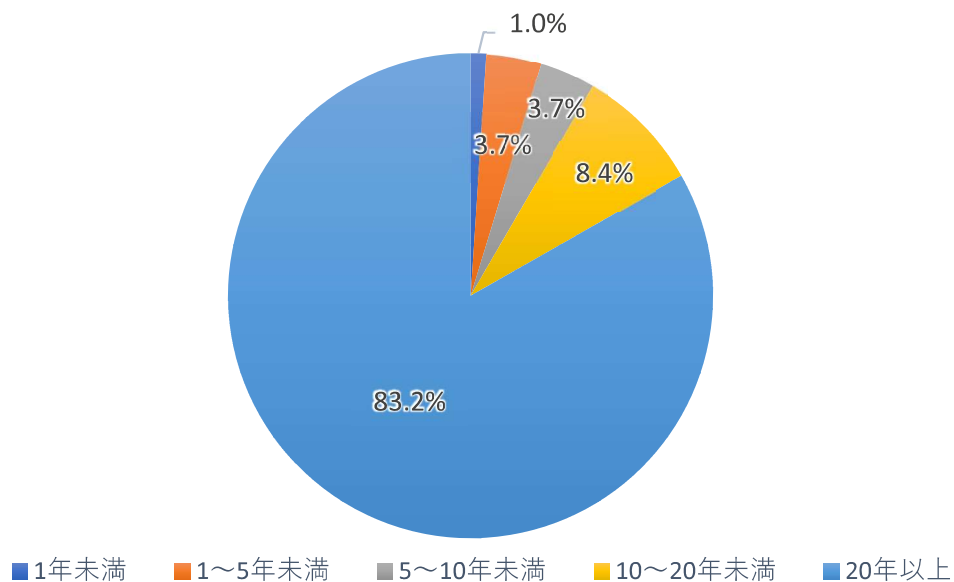
- 「中・泉」地区が30.1%と最も多く、次いで「久保田・慶福」地区が28.5%、「小森・宮崎」地区が24.4%となっている。



■ 宮の下 ■ 小森・宮崎 ■ 久保田・慶福 ■ 中・泉 ■ 古山

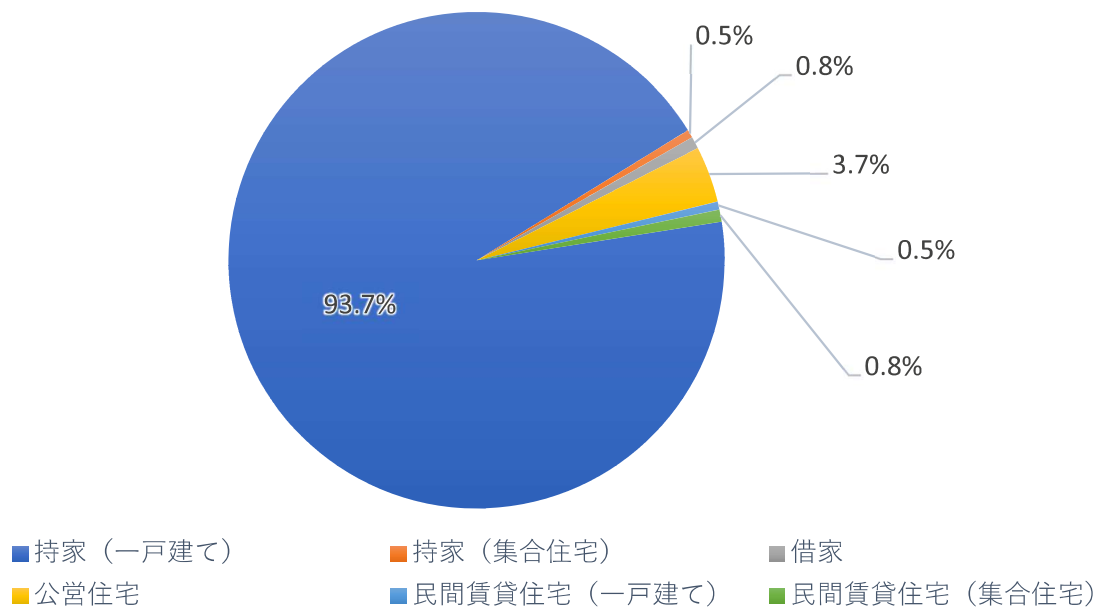
⑤ 居住年数

● 「20年以上」が83.2%と最も多く、次いで「10～20年未満」が8.4%、「1～5年未満」と「5～10年未満」がそれぞれ3.7%となっている。



⑥ お住まいの居住形態

● 「持家（一戸建て）」が93.7%と最も多く、次いで「公営住宅」が3.7%となっている。



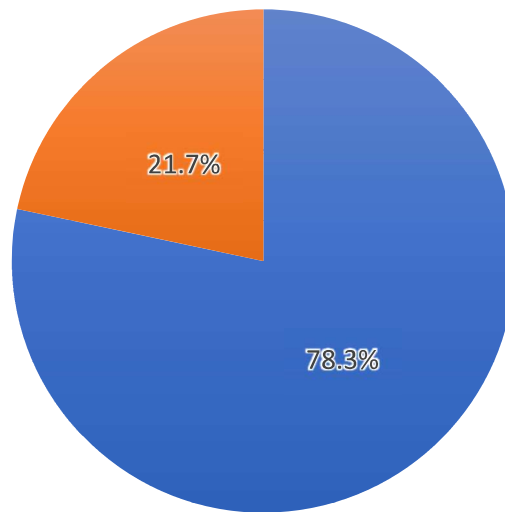
設問 2 日常での災害への備えや災害履歴について、お答えください。

【設問 2 結果概要】

- ・洪水ハザードマップは約 8 割の方が認識しており、認知度が高い一方、認識していない約 2 割への周知徹底が必要である。
- ・避難先は「最寄りの避難場所・避難所」が半数を超えていることから、避難場所・避難所の防災機能の充実とともに、高齢者が多いことから移動しやすい避難経路の確保や避難先施設のバリアフリー化等の高齢者対策が必要である。また、自宅避難や車での避難も多いことから、適切な避難方法や避難場所等の周知徹底が必要である。
- ・浸水被害を経験していない方が 7 割以上である一方で、「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」や「令和元年台風 19 号」の際に身の危険を感じた方（「ある程度の危険を感じた」+「強く感じた」）が約 9 割と多く、水害リスクの周知とともに浸水被害が生じる前の速やかな避難行動が取れるよう情報発信の強化・工夫が必要である。

① ご自宅周辺の洪水ハザードマップ（浸水想定区域図）を知っていますか。

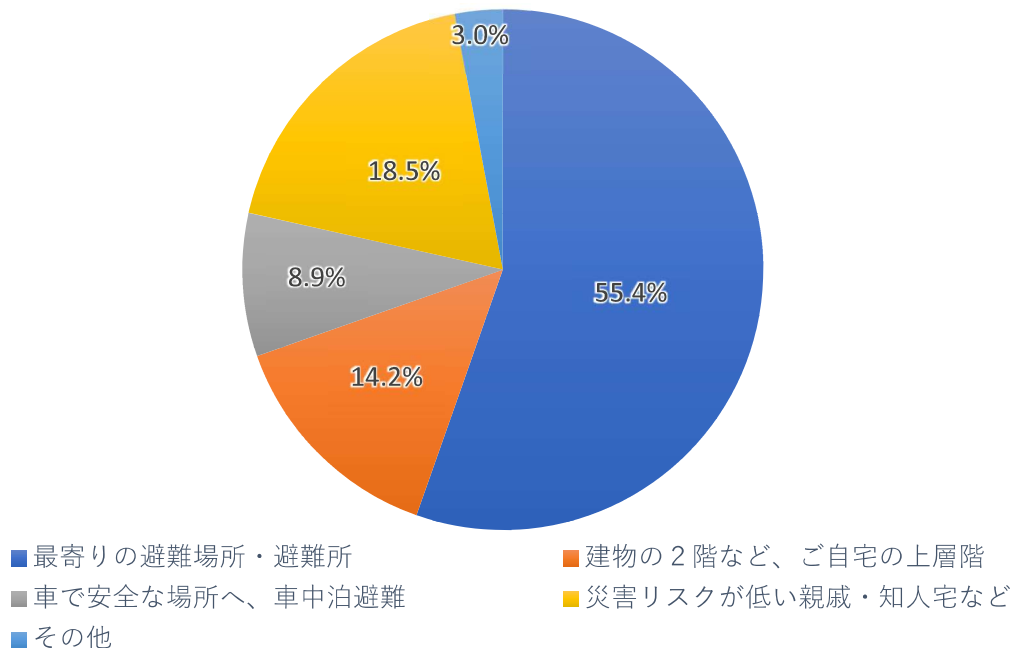
- 「知っている」が 78.3%となっており、約 8 割の方が洪水ハザードマップを認知している。



■ 知っている ■ 知らない

② 水害による避難が必要になった場合、どこへ避難することを考えますか。

● 「最寄りの避難場所・避難所」が 55.4%と最も多く、次いで「災害リスクが低い親戚・知人宅など」が 18.5%、「建物の2階など、ご自宅の上層階」が 14.2%となっている。

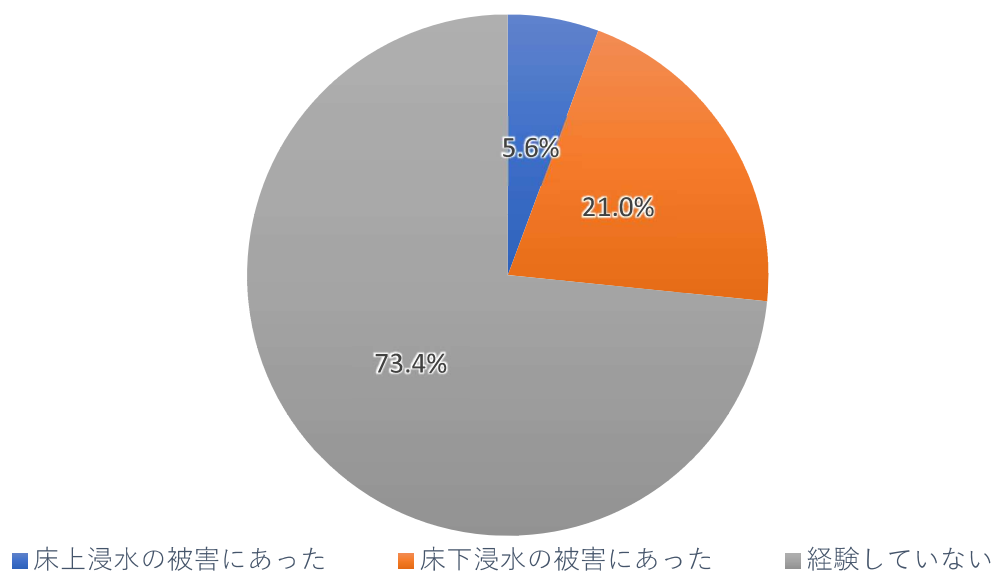


【その他 記入内容】

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| ➢ コロナ対策でビジネスホテル考えています | ➢ 知らない |
| ➢ 過去 70 年余、浸水の経験なし | ➢ 常総地区の鬼怒川決壊を考えた時、上記の悠長な質問に疑問を感じます。 |
| ➢ 安全な場所のビジネスホテル等 | ➢ かなくぼ体育館 |
| ➢ 近くのホテル、宿泊施設を探す | ➢ 息子の家 |
| ➢ 市内の親戚宅 | |

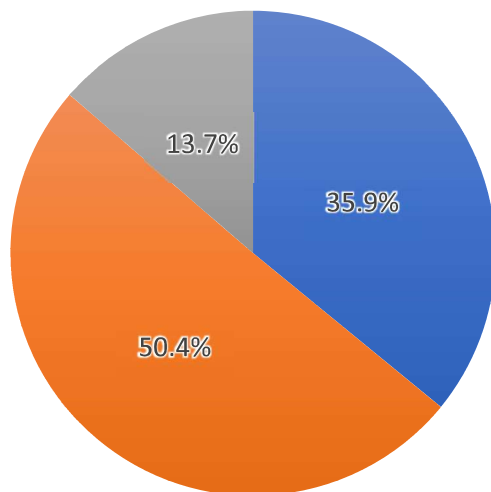
③ 現在お住まいの住宅で、過去に浸水被害にあった経験はありますか。

● 「経験していない」が 73.4%と最も多く、次いで「床下浸水の被害にあった」が 21.0%、「床上浸水の被害にあった」が 5.6%となっている。



④ 「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」や「令和元年台風 19 号」の際に、ご自宅で身の危険を感じましたか。

- 「ある程度の危険を感じた」が 50.4%と最も多く、次いで「強く感じた」が 35.9%、「危険は感じなかった」が 13.7%となっている。



■ 強く危険を感じた ■ ある程度の危険を感じた ■ 危険は感じなかった

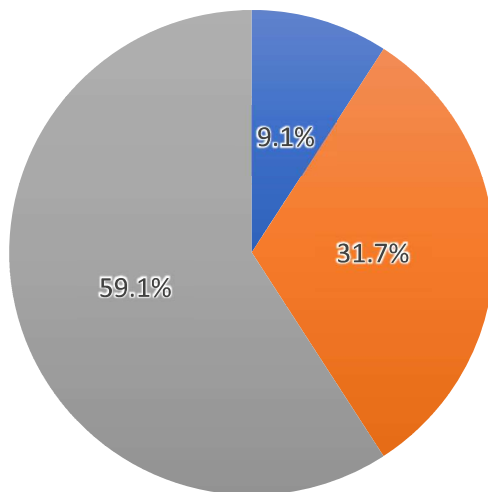
設問 3 現在お住まいの場所から他の場所へ移転することについて、お答えください。

【設問 3 結果概要】

- ・ 安全な場所への移転意向は、約 6 割が「思わない」という結果となっている。将来的な水害リスクの周知や移転支援策の検討を行い、より安全な場所への移転を促す必要がある。

① 水害の危険性を考慮し、より安全な場所に移転したいと思っておりますか。

- 「思わない」が 59.1%と最も多く、次いで「ときどき思うことがある」が 31.7%、「常に思っている」が 9.1%となっている。



■ 常に思っている ■ ときどき思うことがある ■ 思わない

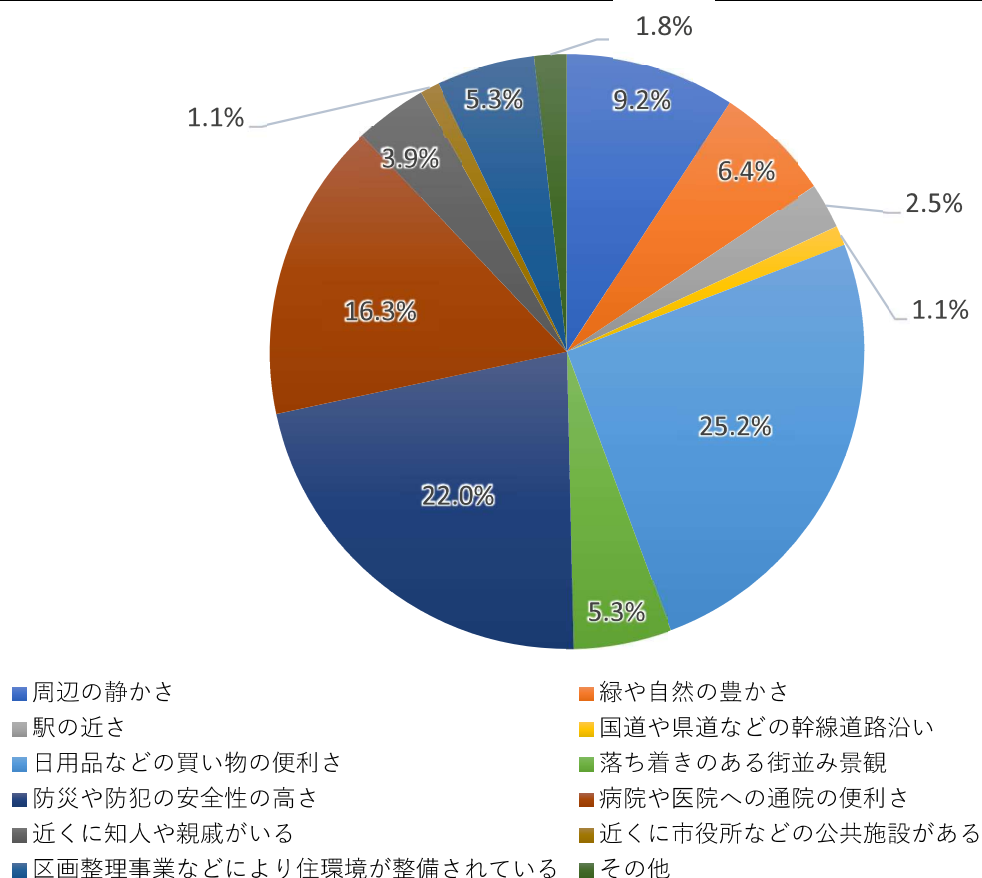
設問 4 移転することについて、以下の内容にお答えください。(設問 3 で「1.常に思っている」「2.ときどき思うことがある」と回答した方)

【設問 4 結果概要】

- ・移転先に望む環境は、買い物の便利さや防災・防犯の高さなど、日常生活における利便性や安全性を求める方が多く、また移転先については「住みたいと思う具体的な場所はない」が約 6 割となっている。今後、移転に関する事業が必要となった際には、個別意向を尊重しながらも、多様な都市機能が集積し利便性が高く、災害リスクの低い、街なか（市街化区域）を前提とした移転促進が望まれる。
- ・移転希望時期は、「すぐにでも引っ越したい」が約 2 割に留まっている。これは、移転への障害要素として「金銭面の不安」や「自宅の処分」、「移転先の土地建物購入費」等が挙げられており、また、行政へ期待する支援についても、「住んでいる土地の買取り」や「自宅の買取り」、「移転先の土地購入費」等が多く挙がっていることから、これらに対する支援策の検討とともに移転促進に向けた合意形成が必要である。

① 移転する場合、移転先にどのような環境を望みますか。特に該当するものを 2 つまで回答してください。

- 「日用品などの買い物の便利さ」が 25.2%と最も多く、次いで「防災や防犯の安全性の高さ」が 22.0%、「病院や医院への通院の便利さ」が 16.3%となっている。

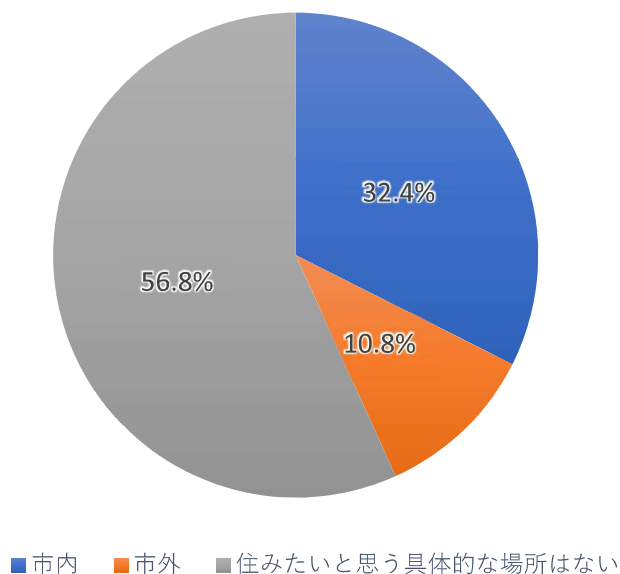


【その他 記入内容】

<ul style="list-style-type: none"> ➤ 土地の広さ ➤ 現在より不便でない地域 ➤ 結城市長、職員は防災意識が弱い、ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 浸水被害の心配がない場所 ➤ 子供の登校の距離
---	--

② 住みたいと思う場所がありますか。また、具体的な場所がありますか。

● 「住みたいと思う具体的な場所はない」が 56.8%で最も多く、次いで「市内」が 32.4%となっている。



【具体的な場所：市内】

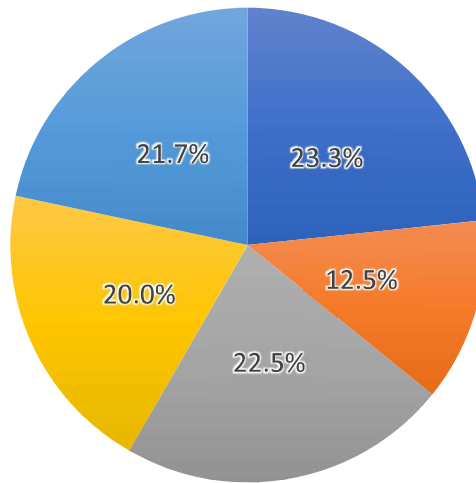
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中央町 ➤ 市役所付近 ➤ 新福地 ➤ 国道 50 号沿線 ➤ 見晴町 ➤ 鹿窪～新福寺間で（水害被害のない土地） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 城南 ➤ 下り松 ➤ 結城駅の半径 500m圏内 ➤ 土地区画整理地内 ➤ 上山川内 ➤ 公達
--	--

【具体的な場所：市外】

<ul style="list-style-type: none"> ➤ 栃木県小山市 ➤ 小山市駅付近 ➤ 佐野市 ➤ つくば市 ➤ 宇都宮市

③ 移転したいと思う時期はいつごろを想定していますか。

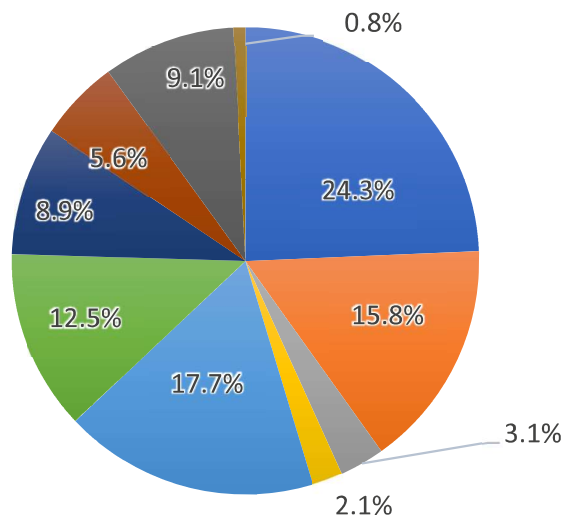
● 「すぐにでも引っ越したい」が23.3%で最も多く、次いで「5～10年の間には引っ越したい」が22.5%、「20年以降となる」が21.7%となっている。



- すぐにでも引っ越したい
- 5年以内には引っ越したい
- 5～10年の間には引っ越したい
- 10～20年の間には引っ越したい
- 20年以降となる

④ 移転を考えた場合、支障となるのはどのようなことですか。特に該当するものをすべて回答してください。

● 「金銭面の不安」が24.3%と最も多く、次いで「自宅の処分」が17.7%、「移転先の土地建物購入費」が15.8%となっている。



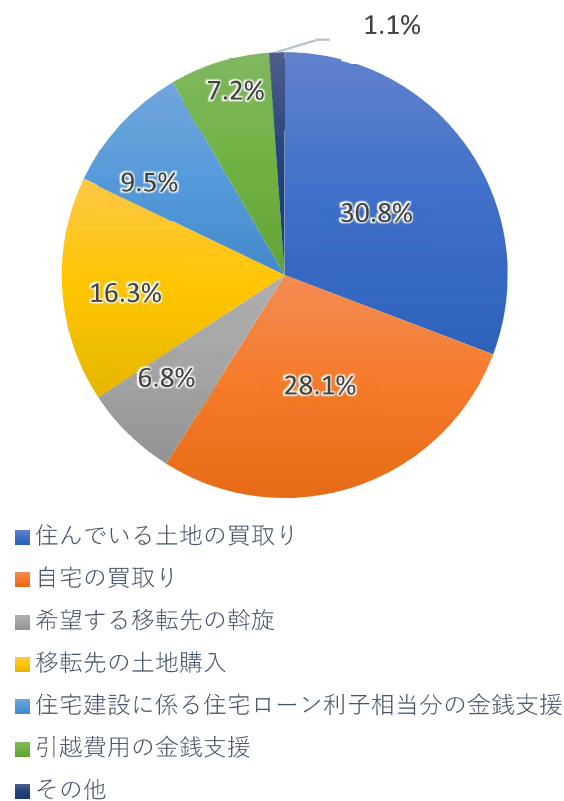
- 金銭面の不安
- 移転先の土地建物購入費
- 仕事の関係
- 子供の転校
- 自宅の処分
- 土地の処分
- 生活環境が変わること
- 地域とのつながりの喪失
- 住んでいる土地への愛着
- その他

【その他 記入内容】

- 水害で土地の価格低下
- 現在住んでいる家の近くにある墓のこと。
- 年齢、自宅の愛着

⑤ 国や結城市から以下の支援がある場合、移転する際の動機となりますか。特に該当するものを2つまで回答してください。

- 「住んでいる土地の買取り」が30.8%と最も多く、次いで「自宅の買取り」が28.1%、「移転先の土地購入費」が16.3%となっている。



設問 5 防災やまちづくりなどについて、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> ・田川の堤防を早期に作ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・5 年先には後期高齢者となり運転免許証の継続が困難となりそう。現在の居住地域には歩行で行けるコンビニもなく、買物難民になりそう。そうはいつでも、これまで築いてきた近隣住民との絆の愛着もあり、腰をあげられない実情だ。 ・堤防の嵩上げ工事も進んでおり、水害のリスクは少し軽減されると考える。ただ、交通の便は巡回バスを増やすとか何とかして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・住み続ける事に不安を感じている。数年前から河川工事等に国の対策はされているが、2019 年には、2 度目の危険を経験した。家の前に用水路があり、増水する事で下水道の高さを超え水があふれる。 ・2015 年には、水門を閉じられ一気に床上まで水が押し寄せ、乗用車 2 台が廃車になった。大切な思い出の写真やビデオテープ、卒業アルバム等、手元にない。行政には安全に生活できる対策を希望したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・排水溝に泥がたまっていて、雨量が多いと道路にあふれそうになります。排水溝の泥を除いて、水通りをよくして欲しいと思います。(中市営住宅の東側)の道路。道路に排水溝がなく、雨が降ると水たまりができ、小学生の通学路も水がたまる。 ・防災無線が聞こえずらく言っている内容わからない。防災ラジオがあったらいいなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政が危険地域の造成を抑える事！！危険地域への告知、周知の徹底を図る。行政の知り得る情報を周知徹底する！危険地域からの移転助成を充実する。危険地域に好き好んで住んでいる訳では無い！仕方なくです！！
<ul style="list-style-type: none"> ・我々の所は泉地区であるが鬼怒川及び田川増水に依り庭先まで水が来た。たまたま運良く、石下、土手決壊で、見る見る水位低下が見られ難をのがれた。今後は早急なる国/県の(栃木県等との放水等も含め)治水対策を願いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・田川の水害をもう少し考えてほしい。市は住んでいる以上、仕方ないでしょう位なのですか。予算がなく、土手を造るとか対策を考えてほしいです。近い内の川の補充を宜しくお願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害の少ない町づくりに協力していきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・古山は近くに工場が有り、常にトラックが走っている為、道路がデコボコでひどい。また、工場から出るにおいが常にくさく、夏は窓を開けていられず、土日関係はなくさい。ストレスを感じる。何とかして欲しいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業を行う際は、地元住民への説明会を開いてほしいです。道路が 1 本なくなるだけで命がなくなる場合もあると思いますので。忙しいとは思いますが、よろしく願い致します。
<ul style="list-style-type: none"> ・防災も含めた街づくりの提案です。高齢化(車の利用が困難になる)や人口減少(過疎化による人口減少区域への生活環境維持費の非効率化)に対応した今はやりのコンパクトな市街地が合理的だと思います。駅を中心に人が多く住める住環境、役所、病院を集中的に誘致、又は整備する。つまり年寄りには車のいらない街づくり、若者には車があっても邪魔にならない街づくり。これにより駅を中心に人口が集中し購買力密度が高まり、バイパス沿いの全国区の店ではなく、地元の商店が活性化できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・結城駅の通路、南と北、陸橋か地下道にしなければ市は発展しないでしょう。 ・市役所は茨城でも 3 本指に入るのではないのでしょうか。 ・市 3 階で十分だと思います。市のあきらかな説明をお願いします。 ・なぜ町中心に立て、何の為なんですか？ ・市の中心に市役所を建てた町はありません。

<ul style="list-style-type: none"> ・洪水が発生してから人的・物的被害が起きてからでは遅いので。出来る限り早く対策を考えて頂きたいと思います。現在、堤防の改修などが行われていますが、ここ数年の雨量が甚だしい台風を考えると、改修したとしても越水や内水氾濫の可能性がかなり高いと思われます。集団移転や個別移転が最も有効な施策であり、反対される方もいらっしゃると思いますが、テレビ等で報道されるような被害が起こる前に真剣に検討すべきです。
<ul style="list-style-type: none"> ・田川の改修を早期に実施してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・水害が絶対に起きない場所の地域づくり緊急事態が起きた時の防災放送の在り方の検討
<ul style="list-style-type: none"> ・田川は危険と知りながらこれまで何にもしない行政はどうかしてる。今後、災害で命、財産に被害をこうむった場合は、市長、職員に殺されたと思う。すぐにでも対応を。今頃アンケートなど笑ってしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・水害を2回経験し、身の危険を強く感じた。要因は限られているにもかかわらず対策が講じられずまた被害住民に対して、防災における具体策がとられていない。防災について意識が高まっている現在、被害住民の意見をとりいれ、全体の危機感を認識し、対策を行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・近くの用水路が溢れて家の近く迄、流れて来たので台風時、川からのし水口を止める様ゲート等を取るより用水路に川からの水を止める。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域格差が大きい ・利便性の問題(買物難民) ・交通機関の不便性・医療機関 ・長期計画に基づく、街作りを住民と共に理解しあいながら防災・火災に対応出来る(道路内等々)区画整理を進めてもらいたい
<ul style="list-style-type: none"> ・国交省鬼怒川緊急対策プロジェクトの全体から対象となる久保田地区住民に対する説明会が不足している。鬼怒川への治水として流入を制御するための水門を田川流入地点に施すらしいですが、当該水門を閉じた場合の田川の水量をどの様に制御されるのですか？ ・越水対策として堤防の一部嵩上げでは対策として不安を感じます。貯水対策等を併用すべきでは？ ・市の広報でハザードマップと合わせて、今後の対策情報も広報してくれると助かる。いずれにせよ、近隣住民に対する十分な説明と同意をもって着工をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・永年水害のたび対策が取られず今日まで何も改善されていません。排水ポンプを設置するなど対策がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の福祉避難所についてですが、一般の避難所と違って利用の希望が出て初めて開設されると伺いましたが、障害者や高齢者など、投薬の必要のある方、他人と同じ場所に居る事が困難な方は、すぐに利用できたら助かると思います。希望せずとも避難してすぐ利用可能になると良いですね。実現に向けて頑張ってくださいと願います。
<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線は学生の下校のものしか聞こえない。それ以外は何を言っているのか分からない。台風の時意味がない。台風の際に川の水位など確認する時に、現在の水位など写真に撮って SNS で発信してほしい。去年、一般の人の投稿で水位を知り避難した。結城市の SNS は役に立たない。 ・久保田の堤防を一日も早く何とかして欲しい。対岸はきれいになり、久保田は水没してしまう。十二天橋の辺りも早くなんとかしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・防災アナウンスが聞きとりづらいです。 ・早め早めの行動が出来る様に、情報をしっかり受けとめたいです。 ・2、3日は自力で過ごせる様、日頃からシュミレーションしたりしています。